令和４年度 第１回　学校法人木村学園　大阪電子専門学校
電子工学科　学校関係者評価委員会

【開催日時】　令和４年８月２日（火）　１３：３０ ～ １４：３０
【開催場所】　大阪電子専門学校　３階コワーキングスペース
（学外委員の皆様はZoomによる参加）
【出　席　者】
学校関係者評価委員（五十音順・敬称略）
井本　直正　株式会社デナリパム
小森　望充　国立大学法人九州工業大学
佐々木　啓　久米電気株式会社

弊学園教職員
木村　誠　学校長
上田　良和　教育改善ユニット・電気設備科班長
浅野　勇介　電子工学科主任・電子工学科１年担任
西原　太一　電子工学科２年担任
松本　哲也　教育改善ユニット班長・情報エンジニア科班長
中本　智　就職指導ユニット主任
井上　雄太　議事録作成担当

【議　案】
１．新型コロナウイルスの感染状況と感染対策状況の報告
２．本年度の学生の状況について
３．学生アンケート案に関する意見聴取
４．前回の会議で上がった内容についての報告

【議　事　録】
１．新型コロナウイルスの感染状況と感染対策状況の報告

・現在、陽性になった学生は、累計１２名となっており、対策の効果により、校内での感染の報告はない。また、本年度の授業では、一斉のオンライン授業などは行われておらず、原則、すべての授業は対面で行われている。

２．本年度の学生の状況について

・１年生の交流活動については、日本人と留学生の交流を中心に、ゲーム大会やトランプなどのレクリエーションを行い、コミュニケーションを図った。

・委員より、他校と比べて出席率が高い点を評価された。本校としては、学生間交流を重視し、レクリエーションを通じて学校内・クラス内の雰囲気を良くすることで、出席率を高められるようにしている。また、クラス担任制を取っており、学生に近いことを利用して、個別対応も含めて学校活動に参加できるよう促している。

・資格取得については、第２級陸上特殊無線技士が全員合格しているが、工事担任者は１名中１名、電気工事士は３名中１名合格している。
資格の指導については、学生全員に１つ以上資格を取るように指導しており、電子工学科では、工事担任者と第２級陸上特殊無線技士は必ず取るように指導している。

・今年度の工事担任者の受験者が少ないのは、昨年のＣＢＴへの変更に対応出来なかったためであり、今後、まだ受験していない学生には受験を促していく。その他の資格に関しては自発的に受験し取得している。

・電子工学科２年生の進路について、１名が豊橋技術科学大学工学部に編入が決まっている。また、現時点で４名が内定を頂いており、内訳としては、ダイキン工業に１名、通信工事系とエンジニアリング系、技術派遣系にそれぞれ１名ずつ内定を頂いている。

３．学生アンケート案に関する意見聴取

・事業計画案で提示していた方向性やテーマ等は、学生に向けて公開していないが、
今後、カリキュラムとして、ＡＩ/ロボット/ＩｏＴといった分野は全学科で教えていきたいと考えている。

・アルバイトについては、学校として全学生に推奨しているわけではないが、アルバイトを行っている学生は一定数いる。また、コミュニケーションが苦手な学生やアルバイト経験の無い学生に対しては、就職活動のために勧めることはある。

・委員からは、社会経験を積むという面で、アルバイトを行うことは良いと思うが、アルバイト優先になって勉学が疎かにならないように指導するべき、というご意見を頂いた。
また、アルバイト内容については、現在学んでいる内容のアルバイトがあれば、スキルアップも兼ねられるが、現状ではそういったアルバイトは少ない。企業連携により、受け皿を増やしていくのも必要になる。

・高いコミュニケーション能力は就職や面接で有利になることは確かだが、エンジニア職の面接としては、『報連相』をきちんと行えるかを見ることが多く、コミュニケーション能力よりも技術が身についていることが前提になってくるため、影響は少ない。このため、コミュニケーションに関しての授業を、現在の資格や授業のカリキュラムの中に組み込むことは、もう少し検討する必要がある。

４．前回の会議で上がった内容についての報告

・実習設備や教育環境、ＩｏＴ、ＡＩ、社会に優しい環境などに対しての具体的な取り組みについては、現在、Ｋ．Ｉ．Ｓ．Ｓ.構想として、機器の更新を実施中である。学生同士のコミュニケーションの部分については、学生に内容の企画、買い出しなどを任せ、学校は場を提供することで、学生の自発的なイベントとして実施した。

・学生募集の部分でのＶＲの利用については、現状のシステム的には難しいため、３６０度カメラを利用したＶＲ動画の発信に留まり、メタバース空間の利用までは至っていない。
ＨＰでの情報発信以外に、学生が良く利用するＳＮＳでの発信を増やすことで、学生募集を進めている。

以上